

素材別比較

	吸放湿性	消臭効果	耐ウイルス効果	防カビ効果	防虫効果	品質安全	持続性
EM床下ドライ	◎ 高い	○ 得手・不得手がある	◎ 高い	◎ 高い	◎ 高い	○ 天然素材	○ 半永久的
炭類	△ 吸った湿気を吐く力が弱い	○ 得手・不得手がある	△ 低い	△ 低い	△ 低い	△ 可燃性	△ 持続不可
ゼオライト	× 吸った湿気を吐く力が弱い	○ 得手・不得手がある	△ 低い	△ 低い	△ 低い	○ 天然素材	△ 持続不可

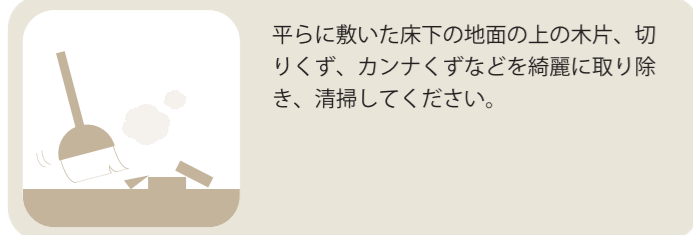
「EM床下ドライ」は…

- ◆優れた吸放湿性と自発呼吸効果
- ◆アンモニアやホルムアルデヒドを吸収し消臭効果
- ◆耐ウイルス・防カビ効果
- ◆シロアリ・腐朽菌の繁殖を抑制
- ◆不燃性で安心・安全の自然素材 100%
- ◆効果は半永久的！

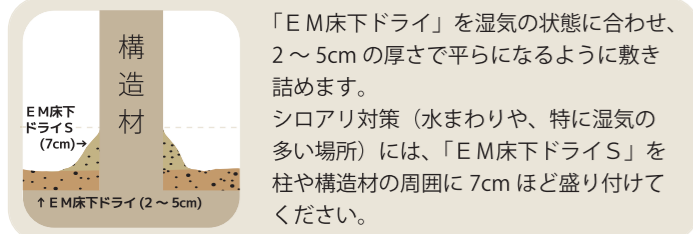
**入れ替えや再散布の必要がなく、
手間とコストが抑えられます！**

施工方法

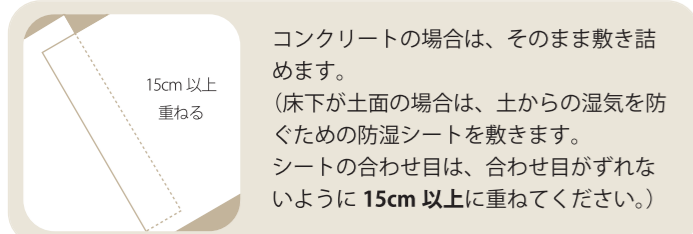
(例) ベタ基礎の場合



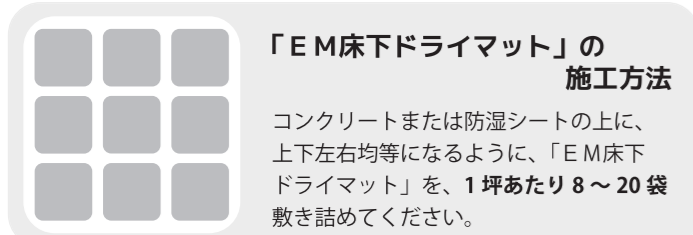
平らに敷いた床下の地面の上の木片、切りくず、カンナくずなどを綺麗に取り除き、清掃してください。



「EM床下ドライ」を湿気の状態に合わせ、2～5cmの厚さで平らになるように敷き詰めます。
シロアリ対策（水まわりや、特に湿気が多い場所）には、「EM床下ドライS」を柱や構造材の周囲に7cmほど盛り付けてください。



コンクリートの場合は、そのまま敷き詰めます。
(床下が土面の場合は、土からの湿気を防ぐための防湿シートを敷きます。
シートの合わせ目は、合わせ目がずれないように15cm以上に重ねてください。)



「EM床下ドライマット」の施工方法

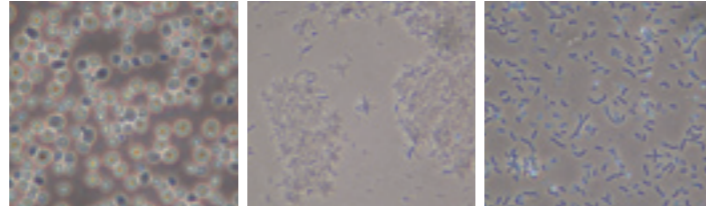
コンクリートまたは防湿シートの上に、上下左右均等になるように、「EM床下ドライマット」を、1坪あたり8～20袋敷き詰めてください。

EMとは？

EMは、「有用微生物群」の英語名「Effective Microorganisms」を略した造語です。有用微生物群とは、簡単に言うと、食品加工にも使われている乳酸菌や酵母菌などいわゆる善玉菌を何十種類も混ぜ合わせたものです。通常、微生物は単一種類で扱われるのが一般的ですが、EMでは複数の微生物を混ぜ合わせるにより、幅広い対象に有効に作用します。このEMには、生物を始めとしたあらゆる対象を分子レベルで蘇生(活性化)させる力があり、国内外で農業や医療、環境浄化、建築など多岐の分野で高く評価され活用されています。

OK-DEPOT では、専門機関との連携により長年の研究を重ね、EMと珪藻土を融合し独自の建築資材として実用化することに成功しました。

EM (有用微生物) の主な顔ぶれ



酵母菌

有機物を発酵する力が強く、菌体がビタミンやアミノ酸を多く含んでいます。

光合成細菌

EMの中心的な微生物で有害物質を浄化し、抗酸化物質を生成します。乳酸菌や酵母と一緒にすることでさらに活発に働きます。

乳酸菌 (ラクトバチルス)

有機物を発酵する力が強く、有機酸を生成し、病原菌の繁殖を抑制します。

※「EM床下ドライ」は、EM研究機構・EM研究所・EM生活との正式なライセンス契約に基づいて製造しています。
※電子顕微鏡による高倍率画像

商品仕様

珪藻頁岩床下調湿材 EM床下ドライ (粒径：2.5～8mm)	珪藻頁岩床下調湿材 EM床下ドライマット (450×300mm)
20kg 5,000円 (税抜) (10,000円/坪)～	20kg (5kg×4袋)
10kg 3,000円 (税抜) (12,000円/坪)～	内容量 設計価格 6,000円 (税抜) (12,000円/坪)～
1坪 (3.3㎡) あたりに対する必要数の目安 (20kg/袋 [箱] の場合)	
2袋 (敷厚 2cm)	標準敷厚 8袋 (2箱)
3袋 (敷厚 3cm)	湿気が多い場所 12袋 (3箱)
5袋 (敷厚 5cm)	湿気が特に多い場所 20袋 (5箱)

シロアリ対策用 床下調湿材 EM床下ドライS (粒径：0～2.5mm)	必要数の目安
内容量 設計価格	シロアリ対策として、水まわりや特に湿気が多い場所（北側床下など）に、状況に応じて1袋～5袋 (20坪程度) 使用してください。
20kg 5,000円 (税抜)	
10kg 3,000円 (税抜)	

地球と人にやさしい自然素材のオリジナルブランド
LOHAS material

床下調湿材

EM床下ドライ

EM Underfloor DRY

珪藻頁岩と消石灰を混合した
自然素材 100%の安心・安全な床下調湿材

珪藻頁岩と消石灰で強力な調湿効果を実現！

住む人のことを考えたら、「家の健康」にたどりつきました。

床下の湿気を珪藻頁岩が吸収し、適度な湿度に調整。

珪藻頁岩の吸湿・放湿効果で半永久的な調湿効果。

嫌なにおいも吸着し、消石灰で高い防カビ効果。

腐朽から床・壁・構造材をまもり、

家を健康にする床下調湿材です。



1% for the Planetとは、企業の環境活動への支援を促進させる目的で設立された世界1000社以上からなるネットワーク組織です。
LOHAS materialの売り上げの1%を日本国内の間伐材支援に寄付いたします。

OK-DEPOT

- 本 社：埼玉県さいたま市大宮区宮町3-25
- TEL：048-631-1199
- FAX：048-644-7309
- OK-DEPOT サイト：http://www.ok-depot.jp



床下調湿材 EM床下ドライの

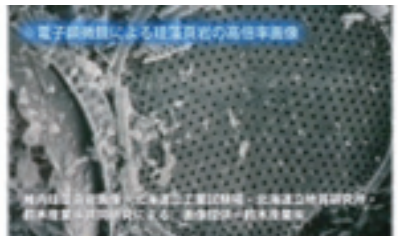
- 調湿効果
- 消臭効果
- 防カビ効果
- 防蟻効果
- 自然素材

5つの特徴

調湿効果

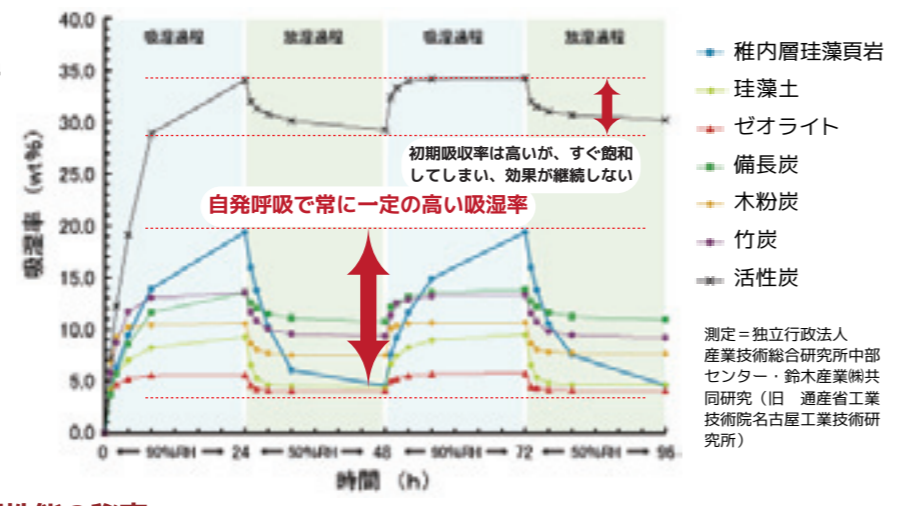
自発的に呼吸する半永久的調湿機能
 調湿効果は備長炭や竹炭の約4~6倍

- ◆ 吸放湿性に最も優れた稚内層珪藻頁岩（けいそうけつがん）を使用
- ◆ 備長炭や竹炭の約4~6倍の吸湿性
- ◆ 湿度が40%以下になると湿気を放出する自発呼吸効果
- ◆ 床下を適湿にすることで、カビ・シロアリ・腐朽菌の繁殖を抑制



高い吸放湿性能の秘密

稚内層珪藻頁岩は、他の産地で採取される珪藻土の約4~5倍の比表面積と細孔容積があります。細孔径は、毛細管凝縮現象の起きる20Åから70Åが多く、この毛細管凝縮によって、細孔がより多くの水蒸気を蓄えることができます。
 ※1Å(オングストローム)=1/100億m=0.1nm(ナノメートル)



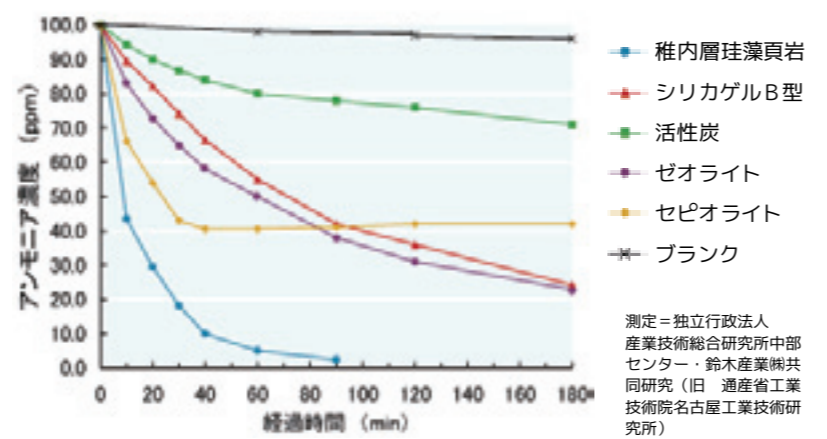
消臭効果

床下の悪臭や有害成分を吸着・脱臭
 においの原因アンモニアを強力に脱臭

- ◆ VOC（揮発性有機化合物）や悪臭成分を吸着し、優れた消臭効果を発揮

珪藻頁岩の消臭効果

においの元となるアンモニアなど、成分のほとんどは、水溶性の分子に付着しています。珪藻頁岩は、湿気を吸い取ると共に、これらにおいの分子や化学物質なども吸着します。水溶性の分子が、毛細管凝縮によってできた凝縮水に溶け込むためです。



「EM床下ドライ」はこんな方におすすめ！

- 構造材の腐朽対策をご希望の方
- 喘息やアトピーなどアレルギー症状のある方
- シロアリなどの害虫から家を守りたい方
- ベッド下や畳のカビにお困りの方
- 床下からの嫌なにおいを低減したい方
- 有害化学物質が気になる方
- 床下の湿気が気になる方

防カビ効果

抗ウイルス・防カビ効果
 アレルギーや喘息の一因
カビを抑制

- ◆ アルカリ作用でカビの繁殖を防ぐ
- ◆ アレルギーの一因であるホルムアルデヒドを吸着分解
- ◆ カビを抑制し、ダニの繁殖も抑制



消石灰とは？

古くから消毒剤の一つとして使用され、農林水産省令「家畜伝染病予防法」で指定されています。アルカリ作用によってウイルスの被膜タンパク質を融解させるか、ウイルスの感染力を低下させることができるといわれ、ウイルス感染症の予防対策に病院などに用いられています。

防蟻効果

床下をまもる防蟻・防虫効果
 殺虫剤を使わないシロアリ対策

- ◆ 湿気を除去し、虫の住みにくい環境にすることで、床下に虫を寄せ付けない
 - ◆ 半永久的に効果が継続、殺虫剤のように再散布が不要
 - ◆ 薬剤未使用で、家はもちろん人と環境にも安心・安全
- ※シロアリ対策には、粒子が細かい(0~2.5mm)の「EM床下ドライS」タイプがおすすめ！

なぜシロアリに効くの？

シロアリは、湿気の多いじめじめした場所に生息しています。珪藻頁岩によって湿気を吸収した床下は、シロアリにとって非常に棲みにくい環境になります。殺虫剤などの薬剤は、効果がなくなると再度散布が必要で、人への害も心配です。珪藻頁岩は天然素材で半永久的な効果があります。



自然素材

稚内層珪藻頁岩と消石灰のみ使用
 薬品や化学物質未使用の**自然素材100%**

- ◆ 未焼成の北海道稚内層珪藻頁岩使用
- ◆ 特殊製法の消石灰(※)を配合

※高温で真っ白になるまで焼いたものとは違い、粒子が細くなりすぎず、珪藻頁岩の細孔を塞ぐことがありません。珪藻頁岩の優れた吸放湿性能をできるだけ活かすため、特殊製法で生成されています。



住む人と家のことを考えて、
自然素材だけでつくりました

「EM床下ドライ」は、未焼成の稚内層珪藻頁岩と、消石灰のみを使用。有害な化学物質や薬剤などは一切含まず、自然素材100%でつくられています。自然素材にこだわり、人と環境と家に優しい、安心・安全の床下調湿材です。